

## (基礎)



より高い建造物を建てようと思ったら、底辺を広く取らなくてはなりません。少なくとも直方体を高く積み上げる技術のなかった古代においてはそうだったと思います。いい例がエジプトのピラミッド。

底辺部は広い分、作るのに時間が掛かります。しかし、是をきちんとやらないと高い建造物はおろかどんな高さのものでも安定したものが出来ません。

仮に一時積み上がったとしても、不安定で常に崩壊や瓦解の心配を抱えることになり、落ち着いてられません。

物事も一緒に、基礎を作るのにはやたら時間と手間が掛かります。応用科学より基礎科学に時間が掛かるのと一緒です。しかも他に対して出遅れ感はあるし、地味です。余り光が当たりません。

しかし、最後にはどちらが安定して、大きなものが出来るか？答えは明白だと思います。そういう非常に当たり前で簡単なことが忘れられたりほったらかされたり見えなくなったっているのが自分も含めた我々のような気がします。

たまには足を止めて、この単純な事実気がついたり思い起こしてみるのが必要かなと思ったりしています。